



帰宅時、生徒らの事故防止に

町内中学校に LED 内蔵の反射ベルトを贈呈

地域貢献事業の一つとして2月12日、熊本東法人会益城支部(住永金司支部長)と町商工会が、町教育委員会を通じて木山中と益城中の生徒約950人に反射ベルトを贈りました。

自主学習や部活動などで帰宅時間が遅くなる生徒たちに贈られたベルトは、腕や足に取り付けるタイプで、内蔵されたLED4個が電池で赤く点灯します。

木山中生徒会長の城下聡一朗くんは「暗い中自転車に乗って帰る生徒もいるので、事故防止にとっても役に立ちます」と感謝していました。



LED 内蔵の反射ベルトを腕につける木山中生徒



左から橋本純佳さん、伊藤琢真くん、渡邊有帆さん、野元ほの香さん

広安西小音楽部が最優秀賞

第39回九州アンサンブルコンテスト

2月8日、福岡県で開催された第39回九州アンサンブルコンテストで広安西小学校音楽部が最優秀賞を受賞しました。パートはサクソホン四重奏。

全19校が出場した小学校の部で広安西小は、九州各地の予選を突破した強豪校をみごと抑え、金賞受賞校の中で最優秀賞を獲得。「初めての大舞台で、最初は実感がなかった」と部長の渡邊有帆さんが大会を振り返りました。「周りの大歓声にびっくりしました。最優秀賞をもらえてうれしいです」とニコリ。「卒業前のたんぽぽコンサートも頑張ります」と話しました。

文教施設の検討結果を答申

公の施設あり方検討委員会

町の施設である文化会館など4つの文教施設について、2月14日、益城町公の施設あり方検討委員会の井田貴志会長(熊本県立大学教授)が同委員会の検討結果を町に答申しました。

平成24年6月から開かれた全15回の委員会で、10施設が検討され、今回で3回目の答申。井田会長は「委員会設置や委員公募などの取り組みが県下でも積極的。町がいかに重く考えているかが伝わってくる。今後の動向が楽しみ」と期待感をにじませました。

答申内容は町ホームページに掲載されています。



町長に検討結果が書かれた答申書を手渡す井田会長(写真右)



井田貴志会長



渡邊有帆さん



城下聡一朗くん